

「平成28年度 古川西小学校保護者アンケート」結果報告

飛騨市立古川西小学校 校長 森本 義彦

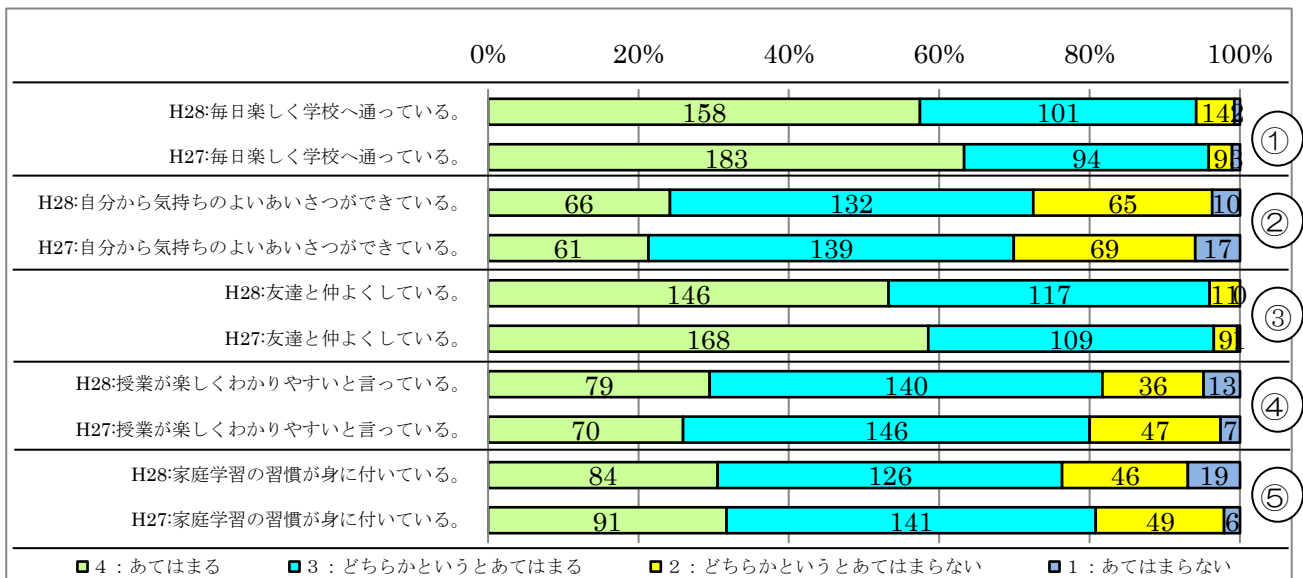
2学期末に古川西小学校の学校評価（保護者アンケート）を実施しましたところ、お忙しい中にもかかわらず、ご協力いただき誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

ご協力いただいた学校評価集計後、児童の学校生活アンケート、職員による学校評価も合わせて、時間をかけて全職員で分析や検討を行い、次年度の教育計画に反映させるよう取り組んでいるところです。つきましては、アンケートの集計やその結果に対する学校としての考え、また記入していただきましたご意見に対する学校としての考えや来年度から取り組むことについて、簡単に報告・説明させていただきます。

また、このアンケート結果を2月16日に実施しました学校評議員の会にて公開し、学校評議員さんのご意見をお伺いしましたので、それも併せて掲載させていただきました。

※お書きいただいたご意見等は、個人としての心配事以外全て掲載させていただきました。尚、誌面の関係上、丁寧にお書きいただいた文も全て常体で記載させていただきます。

【お子さんの姿から】



- ① 90%以上の児童について「楽しく学校へ通っている」と思っていただけであることを大変ありがたいと思います。このことが、学校の一番の基本と考えております。しかしながら、楽しく学校へ通うことができていないお子さんがみえることを重く受け止めています。「わかる授業づくり」「思いやりのある仲間関係づくり」に今後も力を入れていくと同時に、教育相談を大切に、どれだけでも楽しく学校へ通えるようにしていきます。
- ② 今年度も昨年度同様に、あいさつに力を入れて指導してきました。また、PTAのスローガンも「何時でも 何処でも 誰にでも 明るく元気よく」と、あいさつを取り上げていただきました。その成果が出てきつつあり、アンケート結果もよくなってきています。年度当初とみると、朝、自分からあいさつしてくる子が増え、廊下ですれ違ったときに必ずあいさつする子も出てきています。しかし、まだまだ十分とは言えませんし個人差もあります。29年度も「あいさつ」を重点指導項目の一つとし、さらに、家庭・地域との連携を図りながら、どの子も、どのような場でも自分から進んで明るく気持ちのよいあいさつのできる子に育てていきます。
- ③ 「さん」付けで名前を呼び合うことや、「ありがとうの木」の取組で仲間同士を認め合う活動などを通して、「仲間を大切にする子」にしようとして努めてまいりました。29年度も、今年度力を入れてきた子どもたち同士で話し合うことを大切に、よりよい仲間関係を築いていくことができるよう努力していきます。

- ④ 学校生活の大半は授業です。ですから、「授業がわかりやすい」ということは何より大切なことと考えています。今年度は、「若手育成研修」「授業力向上自主研修」と銘打って、互いの授業を見合っよところを自分に取り入れることに力を入れました。今後も、教材を工夫したり、教え方を工夫したりしながら仲間と学び合うことで、どの子にもわかりやすく深まりのある授業を目指します。
- ⑤ 学校で学習したことの定着には、家庭学習が大きく関係します。そして、中学へ進学すれば、「〇〇が分かるようにしよう」というように、自分なりの目的をもって学習する習慣が身に付いているか否かが、学力に大きく影響します。高学年になったら、「宿題だけでなく自分なりの目的をもった学習」ができるよう、学年段階に合わせて指導していきます。このような家庭学習習慣を身に付けさせるためには、ご家庭の協力が必須ですので、ご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。

【このアンケート項目に関する内容のご意見】

<①に関して>

毎日、元気に学校へ行ってくれることを本当にうれしく思う。ありがとうございます。
毎日、楽しそうに学校に行ったり、帰ってきて学校であったことを話してくれたりする。親としては、それが何よりありがたいことだと感謝している。おこがましいが、担任の先生と価値観が合うとっていて、何も心配なくお任せしている。鉛筆1つにしても、上の子の時は長いものを使うようにと、すぐに注意されていたが、物を大切にすることを学んでほしい私にとっては、今の先生のような先生がおられることをうれしく思った。校長先生をはじめ、先生方には本当に一生懸命にやっていただき、感謝しかない。
子どもに学校のことを聞いてみたら、授業でやっていることを話してくれたり、休み時間に友達と遊んだことをたくさん話してくれたりする。楽しい?と聞くと、笑顔でうなずいた。クラスで仲よくやっているみたいで、安心している。
楽しく子どもが通っているので、満足している。
毎日楽しく通わせていただいている。反抗期の息子にも気長に対応していただき、感謝している。
毎日楽しく学校へ行ってくれている。ありがとうございます。学校で何かあった時も連絡をくれて助かる。いつもありがとうございます。
担任の先生をはじめ、関わってくださる先生方が温かく声をかけてくださるおかげで、毎日喜んで学校へと向かっている。
子どもが、「行きたくない」と言わない。行きたくないと言わずに通えていることを嬉しく思う。

<②に関して>

毎朝、横断歩道でゆずった後、班長・副班長があいさつをしてくれる姿を見て、1日がんばれます。先日、高山に早朝より出かけた際、小学生が渡り終えた後、あいさつがなく、さみしい思いをした。古西のいい伝統だと思う。上級生がなぜあいさつをするのか、そして走って渡る下級生の姿、全校が一体となっていると思う。
通学班の集合場所まで、毎朝送っていく。「おはようございます」と言ってくれてとてもうれしい。
あいさつの習慣を付けるための、またあいさつ運動をしてほしい。
通学路や地域でのあいさつができていない子がいる。大人からのあいさつも大切だが、自分から進んであいさつができる子が増えよと思う。

今年度は、重点指導項目に、社会へ出てよ大切になる「あいさつ、返事、大きな声、堂々とした受け答え」を取り上げ、授業を含む全ての学校生活の中で児童に意識させるよう取り組んできています。そして、あいさつについては、毎年少しずつ「大きな声」「相手の目を見て」言えるようになってきたと思います。児童会の取組でも、学校だよりでお伝えしましたようにマスコットの「ニッシー」を登場させるなどの工夫をして、あいさつができるようにがんばっているところです。個によっては、まだまだあいさつができない子もいますが、周りの子の影響や、根気よく指導していくことでレベルアップを図りたいと考えています。また、「自分からあいさつをする」ことも指導しています。ご家庭でもご協力をお願いします。

<④に関して>

昨年国語の担任の先生に、歴史上の人物についていろいろと話をしてもらったり、今年は理科の先生で、専門の話をしてもらったりと楽しいようだ。
 参観日に見せていただいて、大人も子どもも楽しくなる授業をしてみえると毎回思います。一緒に見てくれるお母さんとも、「楽しいね」と言いながら…。子どもたちも信頼しているのではないかと考えています。小学校生活最後の年に、よい先生に巡り会えたと思い、私も子どもも喜んでます。残りあと数ヶ月ですが、楽しく過ごせるようにと思っています。

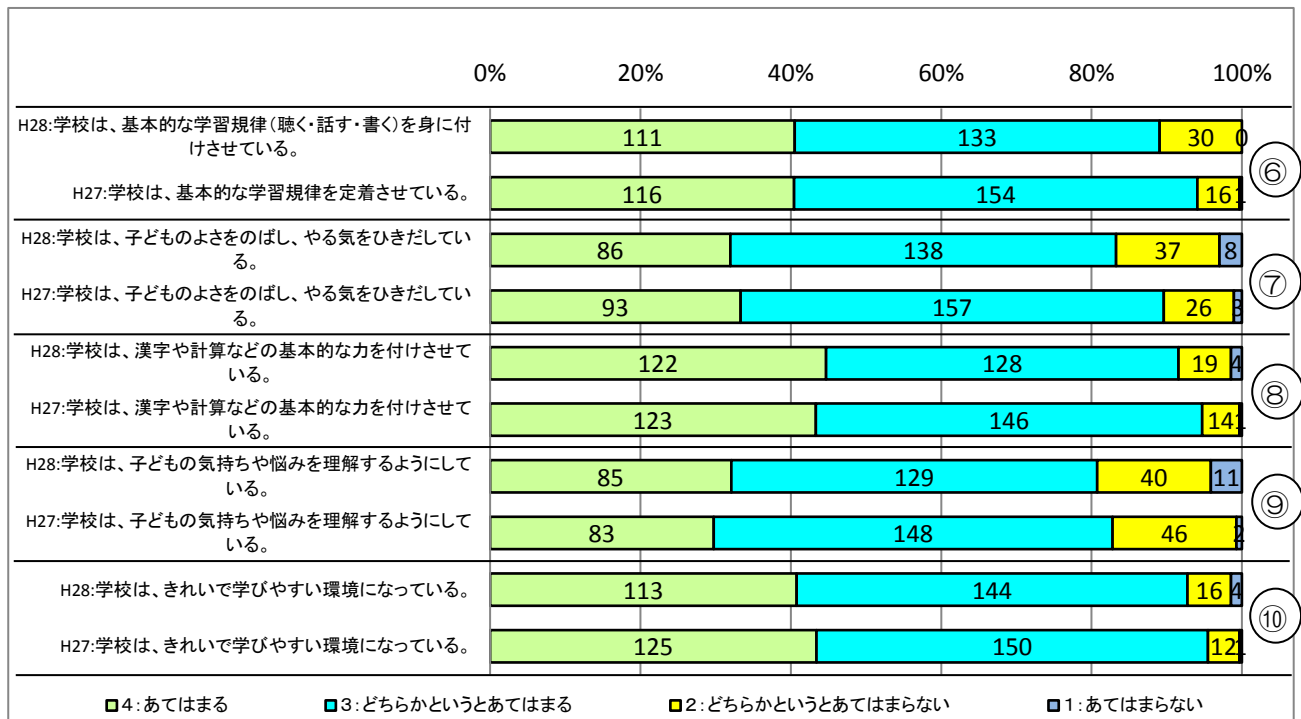
アンケート結果のコメントで述べさせていただいたように取り組んでいきます。

<⑤に関して>

家庭学習に重きをおきすぎ。全ての家庭が時間に余裕のある家ばかりではない。乳児、幼児がいる家もあるので。
 宿題をやらずに平気で学校へ行くことが多々あり、どうすれば宿題をやっていくことができるのか、心配。

アンケート結果のコメントでも述べさせていただいたように、子どもの学力を支える重要な要素の一つだということは、皆さんおわかりいただけると思います。子どもたちの様子を見ていますと、低学年で身に付けた学習習慣は高学年でもいきています。もちろん、家庭事情も様々ですので、無理のない範囲で、我が子に家庭学習習慣が身に付くよう取り組んでいただければと思います。また、宿題を忘れてたりやってこなかったりすることについては、どの学級も見届けをしっかりと行い、ご家庭と連絡を取り合って個々に指導していきます。

【学校の指導について】



- ⑥ 「どちらかというあてはまらない」が増えているのが残念です。どの子にも、「聴く、話す、書く」といった基本的な学習規律を身に付けさせることができるよう、個別の指導や声かけを大切にしていきます。
- ⑦ ⑨ どちらも、「あてはまらない」という厳しいご指摘が増えていることを重く受け止めたいと思います。今年度も、『一人一人の子どもに寄り添い、やる気スイッチを入れ、できたことを認め励ますことで「自信と誇り」をもたせる』という教師側の姿勢を大切にしてきました。今後、

「一人一人の子どもの心に寄り添う」とは具体的にどうすることなのか、「やる気を引き出す」にはどのような声かけが必要かなど、学年会や職員会の場で話題としながら、一人一人の子どもの心に寄り添った指導、よさを伸ばしやる気を引き出していく指導を大切にしていきます。

- ⑧ 「あてはまらない」「どちらかというにあてはまらない」が増えていることを重く受け止めたいと思います。どの子にも漢字や計算などの基本的な力を付けさせるために、3年生以上の算数で少人数指導を取り入れ、学年を3つのコースに分けて自分に合ったコースで学習できるようにしています。また、月に何回か放課後活動タイムを設け、個別に学習指導を行うことも取り入れています。今後、保護者の方とも連絡を取り合いながら、どの子どもが基本的な力を身に付けることができるようにしていきます。
- ⑩ 学校の環境整備につきましては、PTA 環境整備作業で池の掃除やグラウンド側溝の土砂上げ、校舎周りの草取りなどを行っていただいたり、参観日にガラス拭きをしていただいたりと、保護者の皆様のお力をお借りすることができました。また、中庭の畑の周りには防草シートをはって雑草が生えにくくもしました。今後も、保護者の皆様のお力をお借りしながら、子どもたちが学ぶ環境を、よりよくしていきたいと考えています。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【このアンケート項目に関する内容のご意見】

<⑥に関して>

毎日、楽しいといって学校へ通っている。参観の様子を見ても、とても分かりやすく、そしてけじめをつけてあるので、とてもよかった。

みんなで無事卒業できることを心から願っている。早いもので、小学校生活ももう少しなので、子どもにとっても後悔のないよう、楽しく過ごしてほしい。

授業中に席を立て歩いていたり、授業中もうるさかったりということを知る。家庭でも中学校に向けて取り組むこと等を話すが、学校でも何らかの指導をしていただけたらと思っている。あと数ヶ月で中学だけ、不安だという声も聞く。

子どもが楽しく学校に通わせていただいて、感謝している。他の保護者の方の話を聞いていると、一部児童によって学級崩壊というか、授業が中断したりすることがよくあるようで、今後のことが少し不安だ。でも、大人になればどんな人とも関わらなければならないし、それも勉強のうちか、と様子を聞いているだけにしている。

学習規律については、「古川西小学習の約束」を子どもたち自身が意識していけるように毎学期評価しながら取り組んでいます。授業中の学習態度は、現在ほどの学級も落ち着いており心配はありません。また、6年生については、古川地区主幹教諭の愛知教諭が何回か西小へ来て、中学校へ進学するにあたって大切なことを話したり、それを基にして一人一人に目当てをもたせたり、中学校半日入学に行ったりという中で、中学校へ進学する自覚が高まってきています。他の学年においても、3学期は「次の学年への0学期」ととらえ、どの学年も次の学年へ進級することを意識させ、日々の努力の積み重ねを大切にしています。

<⑦に関して>

子どもが友達のことで迷惑をかけたが、子どもと話す機会ができ、感謝している。まだまだ心配はあるが、毎日楽しく学校に行ってくれるのが何よりもありがたく、学校の先生方や友達に恵まれたことをうれしく思っている。親として不十分な点が多々あるので、子どもと共に成長していけたらと思う。また何かあったら、親子で話し合っていきたいと思うので、よろしくお願いします。子どもたちがのびのびしている授業だし、懇談会も温かい雰囲気ですぐ話やすく、大変ありがたく思っている。

子どもの個性を大切にしてくれていると感じている。学習の面でも、できなかったことができるようになってきて、グングン成長していると思う。先生には、とても感謝している。

子どものよいところを見てくださり、悪いところを直していくことなど丁寧に教えてくださりありがたい。

『一人一人の子どもの心に寄り添い、やる気スイッチを入れ、できたことを認め励ますことで「自信と誇り」をもたせる』という教師側の姿勢を文章で評価していただけて、大変ありがたく思っています。これを励みとし、来年度もこの姿勢の大切さを職員で共通理解し、一人一人の子どもの心に寄り添った指導、よさを伸ばしやる気を引き出していく指導を大切にしていきます。

<⑧に関して>

テスト直しは必ず直しをして100点にしてから返してください。ていねいに見届けてくださっているのが分かり、ありがたいなあと思っている。
子どもが授業について行けなくなったときの対応が、分かるまでゆっくり丁寧に個別で教えてもらえることがいいと思う。一緒に授業していても、自分だけが取り残されていると思うと、学校に行けなくなってしまうので、それを素早く対応してくださっている先生方には感謝している。
学習→漢字計算プリントを何度も宿題に出していただき、子どもが日に日にできるようになっていくのが分かる。
通信→学習ポイント（繰り下がりひき算の仕方）が載せてあり、ありがたい。いいことばかりでなく、先生の率直な思いも載せてあり、読んでいて納得できる。
学力は、中学校へ向け基本を身に付けていくことが必須で、本人も大変だと思う。
漢字テストを合格するまで、しっかりとやらせてほしい。

一人一人に確実に力を付けさせるために、

- ・授業や生活の中で書く機会を多くし、書く力をきたえる。
- ・テストのやり直しを確実に行う。
- ・算数の少人数指導に力を入れる。
- ・家庭と協力して、家庭学習習慣が身に付くよう指導する。
- ・漢字や計算など、繰り返しが必要な宿題の量を増やす。

などに取り組んできました。来年度に向けて、

- ・ドリルなどの教材の見直し
- ・長期休業中の学習相談日の充実
- ・個人懇談の時期の変更（学力テスト結果をもとにした個人懇談）
- ・家庭学習への意識のめたせ方の研究

について検討を行っています。いただいた意見を参考にさせていただき、さらに検討を重ねていきます。

<⑨に関して>

担任の先生が、とても分かりやすく（懇談時など）説明して下さる。子どもからクラスでの出来事（トラブルがあったときなど）の話を聞いても、子どもたちの気持ちを第一に考えて上で、きちんとした指導をしてくださっていることがよく分かる。厳しさの中にも愛情を感じられ、安心して我が子を学校へ通わせている。先生方も色々大変だとは思いますが、よろしくお願ひしたい。
子ども同士でもめた時、けがをさせた方だけを責めて、何でケンカになったかをしっかり聞いてもらえないところがある。又、明らかに加害者が悪いのに、被害者にも問題があるようなことを聞いた。先生も難しい立場だと思うが、両者が納得または和解できるように取りもってほしい。
先生によっては、生徒のこと、学校のことを考えていない方もみうけられる。先生への教育も必要なのは？他の学級の話や聞くと、自分の子どもがもしその先生が担任になることを考えると・・・気が気でない。また、いろいろと問題のある親もあるため、担任の先生のこともしっかり向き合ったい。学校全体の問題と受け止めてほしい。
一度言ったことだとしても、その場になかったり一回で理解できないこともあるので、それで怒られるのは子どもとしても納得できないことが度々あるようだ。ただ怒るといのは、子どもを消極的にしてしまったり、聞きたいことも聞けないという状況をつくるので、少し見直して欲しいと思う。
中学年にもなると、大人の矛盾とかが色々わかってしまう年頃なんだなとしみじみ感じる。つい理由も聞かずに泣いている方の肩をもったり、ついちゃんと確認もせず怒ってしまったり。でも、間違っただけをしたり言ったりしたら、子どもに対してきちんと謝る。間違っただけで謝りなさいと言っている大人がそれをしないのはおかしい。先生ともなると、言葉や態度は子どもたちにとって影響は大きいはずだ。現に、教室へ入れなくなってしまった子を先生方はどう受け止めてみえるのか？自分がした事じゃないから、関係ないと思ってるんでしょうか。たくさん子どもたちをまとめるのは大変なことかと思う。けれど、もっと子どもたちの目線で、「こんなこと言ったら傷つかないかな」とか、「これは怖がらせちゃうかな」とか、言葉を選んで伝えてもらいたいものだ。

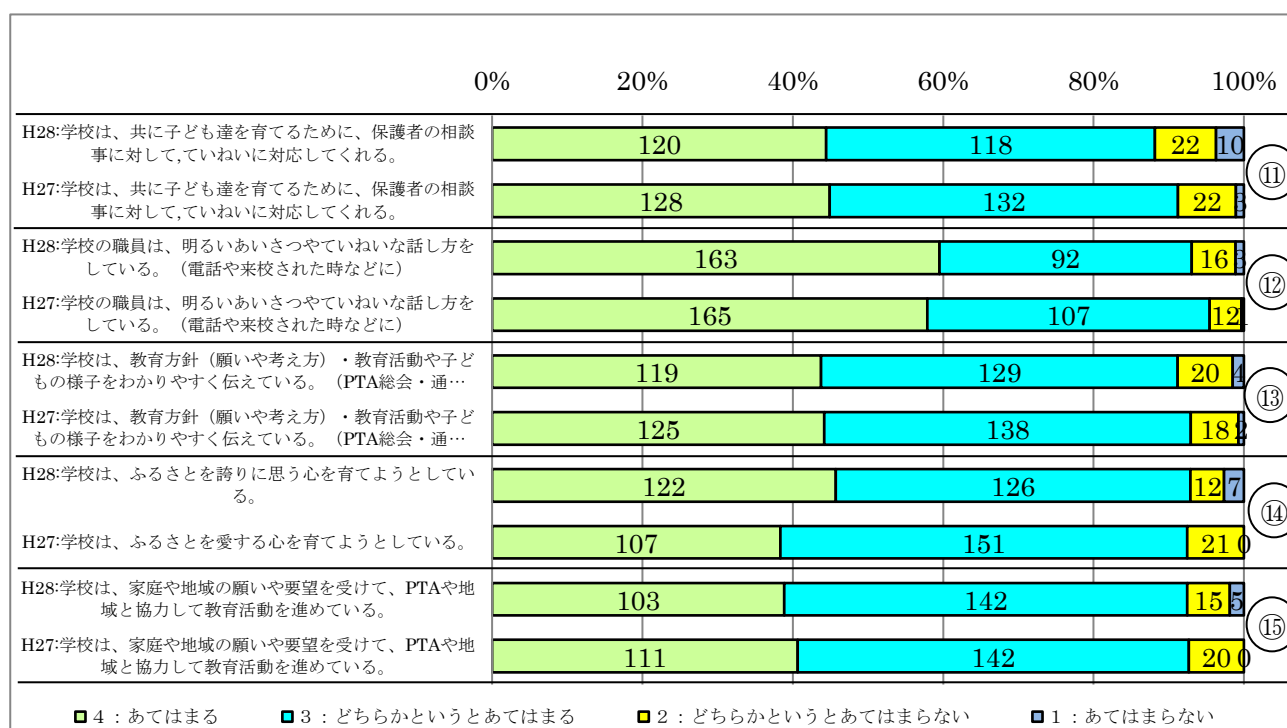
アンケート結果のコメントでも述べさせていただいたように、今年度も職員は、一人一人の子どもたちの心に「寄り添う」「やる気スイッチを入れる」を合言葉に取り組んでいます。外見ではなく児童の内面を理解するように努力していますが、不十分なときもあります。そんなときは、職員の指導を交流して反省点を確認し、切磋琢磨しながらどの子ども納得できる指導をしていきます。また、嫌な思いをした児童の心のフォローも、職員が協力し合って行っていきます。何か気になることがありましたら、遠慮なく学校に連絡してください。保護者の方と相談しながら、その都度最善の対応を行っていきます。

<⑩に関して>

参観日の時は、ちょうど掃除時間と重なりますが、どの子ども一生懸命掃除に取り組んでいて、すてきな姿だと思う。

教育委員会訪問や指導主事訪問の折にも、「掃除が行き届いていてきれいな学校です。」「子どもたちの掃除に取り組む姿が素晴らしいです。」といった評価をいただきました。そしてその都度、全校放送で褒められたことを伝えるようにしてきました。今後も、きれいな環境で学習ができるよう、掃除やごみ拾いに力を入れていきます。

【学校の姿勢について】



- ⑪～⑮ 「あてはまる」と答えていただいた方の割合がほぼ40%を超えており、大変心強いかがりです。特に、職員のあいさつやていねいな話し方については、60%近くの方に「あてはまる」と評価していただきました。また、学校の教育方針や子どもの様子を分かりやすくお伝えすることは、家庭や地域と力を合わせて古川西の子を育てていく上で、とても大切なことだと思っています。今後も、保護者の皆様や地域の皆様とともに古川西の子を育てていくという姿勢を何より大切に、その役割を果たしてまいります。
- ⑩ 保護者の方の相談事に対してのていねいな対応について、昨年度に比べ「あてはまらない」という方が増えていることを重くとらえたいと思います。どの職員も、どの保護者の方に対しても、ていねいに、誠意をもって対応する職員の姿勢を、今まで以上に大切にしていきたいです。

- ⑭ 学校便りでもお知らせしておりますように、昨年度から今年度にかけてふるさと体験学習を充実させ、ふるさとを誇りに思う心を育てることに力を入れてきています。そして、「あてはまる」と評価してくださる方が大幅に増えました。反面、「あてはまらない」という評価も増えました。そう感じていらっしゃる方のご意見をお伺いし、さらに改善していけたらと思っています。自由記述欄にもこのことに関する記述はございませんでした。何かの折に、意見を聞かせていただければと思います。

【このアンケート項目に関する内容のご意見】

<⑪に関して>

担任の先生に、子どものことで相談をしたことがあるが、「まあ今は・・・」と先延ばしというか、スルーされた。問題なく終わらせたいという先生のお気持ちもお察しするが、もう少し熱くぶつかってもいいのでは？と思うこともある。

子どもの相談をしたいのですが、先生は家族の心配事や子どもの気持ちを分かってくれなかった。話の最後をにごすのが嫌だった。約束を守ってくれなかった。

私たち職員の合言葉である「寄り添う」は、保護者の方の思いに対しても同じことだという共通理解をしておりますが、保護者の方の相談事への対応が適切ではなかったことがあったということがうかがわれます。ご指摘については、謙虚に受け止め、再度職員間で話題とし、今後の改善を図っていきます。

<⑫に関して>

学校は厳しすぎず、ゆるすぎず、ちょうどよい。勉強も遊びも含め、楽しく学校へ行けているのが何よりありがたい。けがや病気の対応も親切に、担任の先生から連絡がある。

子どもが欠席した時、必ず、担任から電話をいただいてありがたく思っている。学校も楽しく通っておりますし、勉強もちゃんと理解するまで教えていただいていると、子どもから聞いている。今後ともよろしくお願ひしたい。

初めての運動会では、短時間で全校がまとまり、先生方も一体感があり、とても素晴らしい出来映えだった。しかし、指示を出される先生が、高台で笛指示をされている時、児童はびしっとしているのに、先生が腰に手を当てて威圧感があり、残念な気がした。

子どもに対しての言葉遣いが気になる先生が、中にはいる。

言葉づかいがなっていない先生がいる。あいさつをしても頭をさげるだけの先生、まったく返さない先生がいるので、とても感じが悪い。

教員の中に、言葉遣いが適切でない時がある方がみえると聞いている。子どもから時折、言い方が怖かった、先生がうぜえと言っていたと言う声が聞かれるという親さんもみえるとのことだ。本当かどうかかわからないが、子どもの手本であっていただきたいと思う。

先生方には「教師らしいふるまい」「教師らしい言葉遣い」をしていただき、子どもたちの見本となる姿を示していただきたいと思う。「指導されている」「叱られている」などと違った場面で、乱暴な言葉遣いやイライラを募らせたような態度をとられているのか、帰宅後に、「怖かった」などと話していることがある。その時々事情や子どもが理解しきれずに話していることもあり、全てを鵜呑みには聞いていないが、「本当に先生が言っていたの!？」と思うような言動の時がある。

ほとんどの先生が、「こんにちは」とあいさつをしても、”無視”で、何もあいさつを返してくれないと子どもが言っていた。せめて会釈だけでもしてあげて欲しい。勇気を出してあいさつしても、無視では子どもたちがかわいそうだ。普段、「あいさつ」と言っている先生方から見本を示してほしい。

特に教師の言葉遣いに対する厳しいご指摘をいただきました。「教師らしいふるまい」「教師らしい言葉遣い」。教壇に立つということとはどういうことなのか、児童に対してどんな姿勢で接していくべきなのかをきちんと指導していきます。「先生があいさつを返さない」というご指摘をいただいております。校舎内を巡回していて、そのような場面に出くわしたことはありませんが、「まずは教師から」ということを再確認していきます。

毎週、先生が作ってくださる通信は、1週間の様子がよく伝わり、家で子どもと話をする時にとても役立つ。子どもと二人ではうまく話が續かないが、写真などを見て具体的に話をしてくれて内容が膨らむ。

心強いご意見、ありがとうございます。今後も、通信により、教育方針や子どもの様子、家庭教育で大切にしていきたいことなどを発信していきたいと思ひます。

<⑭に関して>

授業での町探検など、地元のよさを自分たちで発見し、みんなに伝え、よいところを体感できているのでいいと思う。

町探検、団子焼きは地域を知るよい学習だと思う。

和紙作りや山之村牧場など、地元の伝統やよさを学び、体験することは、地元を大切にする心が生まれる素晴らしいことだと思うので、今後も続けていってほしい。

地域に根付いた活動が多く、子どもたちのとてもよい影響を与えていると思う。

小学生は、対人関係や地域社会のことを学んでもらいたいと思ひますので、郷土の社会見学等、大いに賛成する。

学年ごとに行事があったり、総合学習などで様々な経験をしたり、知識を身に付けたりなどしていただきありがたい。

飛騨市の学校教育方針は、「ふるさとを愛し たくましく生きる力を育む教育」です。そこで、本校では、昨年度から今年度にかけてふるさと体験学習を充実させ、ふるさとを誇りに思ふ心を育てることに力を入れてきました。そして、学校便りでも紹介させていただいたように、先日『岐阜県ふるさと教育表彰 優秀賞』を受けることができました。これに際して、多くの地域の方にご協力いただいていることに深く感謝いたします。今後も、ふるさと教育を充実させていきたいと考えていますので、ご理解・ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

【自由記述のご意見から】

<学習指導に関して>

①少人数の算数は今後も続けてほしい。

②算数はワークじゃなく、計算ドリルにしてほしい。

③図工の絵は学年共通にしてほしい。

④夏休みなどの学習指導日を、できればプールバスのある時にしてほしい。朝8時から仕事の所が多いので、バス通の子のためにも、7時30分くらいから学校を開けて入れるようにしてほしい。そうしてもらえれば、連れて来れるからうれしい。ずっと家に大人がいる家は少ないと思う。

①についてですが、少人数指導を実施するにはそのための教師が1名必要です。毎年、県に要望書を提出して先生を1名付けていただいている現状です。来年度については、まだ付けてもらえるかどうか分かっていません。②については、計算力だけでなく、本校の課題である活用力を付けたいと考え、ワークを活用しています。ドリル的な内容は、朝学習やプリント学習で補充しています。③についてですが、図工については、その学年の担当者と相談し、同じ歩調で進めるようにしています。また、版画については、外部から講師の先生に来ていただいて指導してもらったり、教師が版画指導について学んだりしています。④についてですが、スクールバスは中学校の部活動の関係で使用できる日にちや時間が限られてきます。学習相談日に7時30分くらいから学校を開ける件については、今後の検討課題としていきます。

<宿題に関して>

- ①宿題ノートに予定、日記、カド・ケドすべてを書き込むことにすごく抵抗がある。新しい学年ではそれぞれにノートを使ってほしい。
- ②夏休みや冬休みの宿題のプリントは毎年同じなのでは？ 習っていないところがあったり、答えが間違っていたりして困る。
- ③夏休みなどの宿題プリントの答えが違っているなどやりづらい。やりやすいように工夫してほしい。
- ④自主勉ノートが増えていくことも大事だが、他の家庭学習の問題集をがんばっている場合、学校で把握できない子どもの努力もある。評価が偏らなければよいのだが。
- ⑤宿題の内容を、量より質を重視して欲しい。特に、漢字ドリルは、漢字をたくさん書かなければいけないので丁寧に書けないし、書き順も間違えたままですら終わらせてしまうことがある。ノートのマスは4つ使っても、書き順を小学校のうちに直したいのだが、宿題のノートの書き方の決まりがあるようで、そばで見ていると、終わらせることが先になってしまい、上手くいかない。みんなが同じノートの使い方ではなくてもいいと思う。今のままだと、宿題が嫌になるばかりに思う。

①については、「提出するノートが何冊にもなるのは…」というようなこともありますし、学年の発達段階に応じて総合的に判断し、使い方を工夫していきます。②③についてですが、基本的には学習内容が毎年同じなので、長期休業中の学習プリントは部分差し替えで作成しています。今後も、学年の実態に応じるなどして部分差し替えしたりしながら活用していきますが、間違いがないよう、十分気を付けていきます。④⑤についてですが、ご意見の通りだと考えます。本来、家庭学習は、自分が「わかる」「できる」ようにするために行うものです。ですから、ページ数を競ったりページ数で評価したりするものではありません。この原点に立ち返って今後の指導を行っていきたくと思います。ただし、自分で工夫して家庭学習を行っていく力が付くまでは、宿題を与えたり、ノートの使い方の基本を示してあげたりする必要があると考えています。個々によっても違いがありますので、「我が家ではこうしたい」ということを遠慮なくお伝えください。共に家庭学習を充実させていきましょう。

家庭での学習は、子どもの学力を支える重大な要素の1つです。そして、家庭での学習習慣を身に付けさせるのは「各家庭」です。家庭学習時間についてですが、目安として、中学生の場合は「学年＋1時間」、小学生の場合は「学年×10分＋10分」などと言われます。ちなみに、全国学力学習状況調査による小学校6年生の平日の学習時間（塾等も含む）は、2時間以上やっている子が全体の26%、1時間以上やっている子は63%という結果が出ています。こういった家庭学習習慣は、中学校につながる重要な習慣です。一朝一夕に身に付くものではありませんので、低学年のうちから、きちんと身に付けさせたいものです。

<名前を「さん」付けで呼ぶことについて>

- ①変なあだ名で呼ばれる子がいないのは、よいと思う。
- ②さん付けがどうしても良いと思えない。子ども同士のあだ名付けは、頭のやわらかい子どものステキな一面だ。頭の固い大人が考えた男女平等に、美しいことばで話す、というのとはまたちがうと思う。いじめ対策なのかもしれないと思ったが、根本的なところがちがうから、いじめはなくなる。大人は間違った対応をしすぎに感じる。あと、無言の登校、無言の掃除も楽しさを全く感じない。ロボットのような子どもに育てたくない。

①と②のように、毎年賛否両論の意見をいただきます。学校は、仲間と学ぶ「公」の場なので、互いに尊重し大切にする気持ちをもたせるために、「さん」付けで名前を呼び合うことを指導しています。また、児童も西小学校の宝として自覚しています。無言で登校することについては、それを奨励しているのではなく、安全のために一列で登校することを指導していて、それが無言に繋がっています。掃除についてですが、職場で仕事をする場合にも、静かに集中して行う必要がある場合が多いのではないのでしょうか。学校は小さな社会です。掃除の時間は静かに集中して取り組むというような、けじめを付けて生活する力を身に付けさせたいと思っています。

<いじめ・心の教育に関して>

①差別に繋がるような言動は、本人によく分かるように話してくださり、その内容を親へも伝えてくださり、感謝している。

②生徒数がちょうどよく、目が届きやすい環境にはあると思う。「思いやり」など、道徳で学んでいるようだが、実生活においては思いやりの欠けた態度で接せられ、心にしこりを抱えて帰宅することもある。成長と共に乗り越えていける程度におさまってくれば、と思っている。

③命の日や人権についてなど、道徳的な指導もしていただいている、子どもたちの「心の根」がしっかりと育っていきってくれると思う。子どもたちの素直な感想をお便りで拝見して、そう感じる。本当にご苦労様。これからもよろしくお願ひしたい。

④一人一人子どもには個性があって、その違いを認め合えるようになってほしいと思う。「思いやり」ということを大切に教えてほしい。先生がそういう声かけをしていくと、子どもたちも変わってくるのではないか？ものの言い方一つずつでも「〇〇と言うよりも、〇〇と言ったらどうかな？」と子どもに考えさせるようにしたら、と思う。どんなにネットの世界が広がっても、人と人のコミュニケーションがうまくできていなくては、意思疎通に困ることがでてくるように思える。小学校も小さな社会だ。まだ定まっていない子どもたちの心を、こっちだよ、と指し示す心の指導をしてほしい。

学校として、「いじめは、人間として絶対に許されない」という認識に基づき、未然防止及び早期発見・早期対応に心掛けています。具体的には、

- ・心のアンケートを年間4回実施し、それを参考にしながら全職員で教育相談を行う。
- ・児童の些細な変化も見逃さないよう情報交流を行う。
- ・いじめ事案が分かった場合には、速やかにそして組織的に解決にあたる。

などです。詳しくは、古川西小学校ホームページ、「飛騨市立古川西小学校いじめ防止基本方針」をご覧ください。全職員がアンテナを高くしていじめに繋がる行動に対して敏感に反応するようにしていますが、学校で把握できていない場合もあります。古川西小をいじめのない学校、いじめを許さない学校にしたいと願っているのは、保護者や地域の方も同じだと思います。お耳にされた時点で、すぐに学校へ相談していただきたいと思います。家庭・地域・学校が、「いじめは、人間として絶対に許されない」という共通の認識で、行動に移してこそなくすことのできるものだと思います。協力し合っていきましょう。よろしくお願ひします。

①について、評価のご意見を書きいただきありがとうございます。今後も、差別につながるような言動に対しては、そのことが本人に伝わるように話し、保護者の方と共に見守っていくようにします。②③④についてですが、今年度特に力を入れたのが、「28日は命の日」としているその日に、職員が児童の心に響く話を全校放送で語りかけ、その後に各担任が心に届く話をすることです。(大切な人を亡くした体験をした職員が、「生きたくても生きることができない人もいます。『死ね』なんて言葉は絶対に遣わないでほしい。」学校の池の鯉が入れ物から飛び出して死んでしまったことを受けて、「人だけでなく、どんな生き物も命は一つしかない。この世の中には一匹しかいない大切な存在。他の生き物も、自分たちの仲間も大切にしたい。」)また、今年度は、「豊かでたくましい心づくり」に重点をおき、自分も相手も大切にす心の指導に力を入れています。日々の道徳授業や2学期の人権集会などで、誰に対しても「思いやり」の気持ちで接することを指導しています。今後も、『28日は命の日』を継続すると共に、その原点は心の教育にあることを再確認し道徳教育に力を入れていきます。

<服装に関して>

①いつもありがとうございます。通学時の服装のことですが、授業で体育がある時、体操服での通学を許可していただきたい。

②体育のある日は体操服(ジャージ)登校をすることで荷物が減る(事故防止など)。

①②について、昨年度も同じように回答させていただきましたが、西小学校の生活のきまりでは、「登下校：私服に名札を付ける。」とだけ規定しています。ですから、体操服での通学を禁止しているわけではありません。ただ、以前にも登下校の服装のことがPTAで話題となり各学級で保護者の方に話し合ってもらった結果、「運動して汗をかいた服で一日過ごすのは衛生上よくないので、着替える習慣付けをしてほしい」ということになり、それを今も推奨しています。そのことを受け学校は、2階に更衣室を造ってもらっています。

<その他 生活指導に関して>

①いつもありがとうございます。けんかをしながらも、毎日楽しく学校に通えているので、何よりだ。トラブルがあっても子どもたち同士の話し合い等で解決の場をつくってくださり、とてもありがたく思っている。

②学校レベルで考えなければならないことを、学年のみで全校の問題として考えず、隠しているような印象を受けたことがあった。（前年度の5年生のお菓子持ち込みの件）

各学級のどんな些細なことも、全職員で交流し話し合いをしています。その場で、各学年ごとの指導がよいのか、全校一斉の指導がよいのか、全家庭に知らせた方がよいのかを検討した上で対応しています。「隠そうとしている」のではなく、「どこまでの指導がよいのか」を検討し判断して対応していることをご理解願います。

①子どもから聞いた話で、上級生は優しいと話していたので、嬉しかった。本人にも見習わせたいと思う。

②学校生活は、毎日元気に登校したり、出来事を色々と話してくれたりするので、楽しいのだなと安心しており、先生方にも感謝している。1つ気になったのは、クラブ活動で、「6年生がパスをしてくれない」「下手くそ！と言われて楽しくない」などと、経験や体力に差がある中で、上級生から毎回言われる言葉に傷つくことがあった。顧問の先生もみえると思うので、勝ち負けや上手下手よりも、縦割りでの関わり方や発言の内容をもう少し重視して見ていただけたらよかったのかなと思った。クラブは毎年選べるということで、来年はまた他のことをやってみようかなと前向きに考えているので、心配していないが、スポーツ関係はそういった点で、先生方の助言が上級生にあると雰囲気も違ってくるのではないかと思った。

①につきましては、学校として大切にしていきたいことです。上級生がよい姿を示し、その姿に下級生が憧れをもち、自分より下の子に優しく接する。さらに、自分がよりよい上級生になっていく。こういったよい循環を創るよう、今後も努力していきます。②についても、ご意見と同じように考えています。ご意見の内容についても、顧問が把握し指導しました。今後も、クラブ活動も含めた縦割りの活動を大切に、その中で、仲間との関わり方や言葉遣いなどを学ばせていきたいと思えます。

給食エプロンのアイロンがけが無しになれば助かると思う。

ご家庭に負担をおかけしますが、次の人が気持ちよく使用できるよう、アイロンがけにご協力をお願いします。

<特別支援教育に関して>

①おあしす学級と普通学級の交流がたくさんあることがよかったと思っている。普通学級の子たちがおあしすへ遊びの誘いに来てくれると聞いたときは嬉しく思った。

②特別支援学級に在籍している子も交流学級の中で、クラスの一員として生活できるよう、一人一人個性があり、苦手なことも得意なこともあることを、同じ学年の子やその他の学年の子達にも理解してもらえ、学習環境をつくってもらっているので、このままいてほしい。そして、その情報を上の学年にも伝えてほしい。一人一人その学年で起きたことなどの情報を次の学年の担任に必ず伝えてほしい。そして中学校への必ず情報を上げて下さい。小学校とは違い、親子共々ギャップに苦しまないように、早めに情報の共有をしてほしい。

①について、休み時間になるとたくさんのおあしす学級にきて、異学年がふれあいながら遊んでいる姿があります。今後も、交流学級との関わりを大切にしながら、個に応じた教育活動を仕組んでいきます。

②についてですが、個に応じて個別の支援計画を作成して、とぎれのない支援が受けられるよう市及び県全体で取り組んでいます。また、今後、これまで以上に中学校との交流や情報交換を密にしていきたいと考えています。

<登下校に関して>

- ①毎日楽しく学校に行っているの、安心して。1年生の最初は、先生が下校に付き添ってくださって本当に助かった。今も安全に気を付けて登下校できている。ありがたい。
- ②杉崎の踏切周辺の通学班は、工事によって通学路を変えてくださったり、朝早くから先生が立ち合ってくださいました。子どもたちの安全を常に考えてもらっているのが嬉しかった。
- ③9/20の大雨で風の下校となったが、メールには「児童クラブ利用の児童はそちらに行きます」となっていたため、電話連絡しなかったのだが、うちの子は自宅に戻っていた。幸い、近所の方が連絡を下さったので大丈夫だったが、メールで児童クラブへ行きますとした以上、利用の子は強制的に児童クラブへ行かせていただきたかった。
- ④バス乗り場に、看板や横断歩道がないところがあるので、安全のためにあるといいと思う。
- ⑤これからの季節、登下校の際の通学路の除雪状況を把握して欲しい。降雪・除雪の雪で、子どもたちが歩けない状態のことがある。学校より行政に働きかけてほしい。
- ⑥通学バスで、子どもがシートに座る前に発車する時があり、危険だ。対応をお願いしたい。
- ⑦朝のスクールバス、数河・太江線ですが、子どもの数が増えており（特に冬）、バスの乗車マナーが悪い（小学生、中学生の一部）、補助席を使用しなくてはならない状況がある。低学年の子が一人で2つの席を使用したり、それを見て上級生は注意もせず。また、中学生が一人で2つの席を使用して宿題をしていることもあるようだ。本来は親が家庭で教えることだが、他のバス路線は、乗降がしやすいようにルールを決めていると聞いた。我が子にも、自分から先生に相談するように伝えているが、一度、通学班集会（同じバス路線の）で話をさせていただけるとありがたい。中学生の中には、空いた席に座るように勧めてくれる生徒さんもみえるようだが、異性の横に座るのに恥ずかしさがあり、座らない小学生もいるようだ。なかなか難しい。

①②についてですが、学校は児童の安心や安全を第一に考えて活動しています。その中の一つとして、登下校についても常に気を配っています。また、地域でも見守り隊の方が活動してくださいます。ありがたいことです。③についてですが、学校のメールの内容が不十分でご迷惑をおかけしました。児童クラブの利用については、その日その日に児童クラブへ直接連絡をお願いします。

④についてですが、スクールバス乗車位置の看板について昨年度確認したところ、「今のところ更新の予定はない」ということでした。横断歩道等については、各地区から寄せられた要望について、PTAでまとめ、市P連として要望書を提出しています。⑤についても、職員が点検したり付添下校をしたりして危険箇所の把握に努め、行政にも依頼しています。④⑤のような内容については、地区委員さんを通じて学校へ連絡ください。集約して根気強く行政へ働きかけていきます。また、区長さんを通じて地域からも行政に働きかけていただけるとありがたいです。

⑥⑦についてですが、通学班集会で実態を把握して、みんなが嫌な思いをしないようにするには、どのように乗車したらよいか話し合いをしたり、必要なことは中学校にも連絡して解決してもらったりしています。また、担当職員が、朝のスクールバスに乗って指導することも指導することも行いました。今後も、このようなことを継続していきます。

<保護者引き渡し訓練に関して>

①災害時の引き渡し訓練で感じたが、実際に災害が起きた場合、あのような状況では助からない人が出たり、もっと混雑してしまうと思う。もう少しスマートなやり方を検討すべきと思う。実際、国道41号の大混雑で、他の車が迷惑そうだった。学校に着いてから自宅に帰るまでかなりの時間を要した。車が詰まって動けなかったのだ。

保育園と合同で、また、ドライブスルー方式で初めて行った訓練でした。ご意見のように、課題がたくさん分かりましたので、今後よりよい方法を編み出していくことができると思います。今度実施するときには、今回の反省を生かし、よりスムーズに、より安全に引き渡しができるように実施していきます。

<個人懇談に関して>

①昨年まで夏休みにあった懇談が、今年は11月にあり、9時～3時で働いている人は非常に困って見えた。フルタイムで働いている方は学童へ申し込んでいるが、9時～3時くらいのパートの方は何日も連続で14時下校は困る。例年通り夏休みにするか、15時以降に変更していただけるとありがたい。

②懇談は子どもの授業時間をつぶしてやるのではなく、今まで通り、夏休み中等にやった方がいいと思う。

③夏休みの個人懇談が11月になったが、前の学年の学力調査の結果を見せられても、時間が経ちすぎており、ピンとこないのが正直な感想だった。やはりもう少し早い時期に懇談があるとよいと思う。

昨年まで、個人懇談は、夏休みと11月に実施してきました。市で行う全校を対象とした学力調査は1月に実施し、2月下旬に結果が送られてきます。その結果をもとにして懇談を行いたいと考え、今年度、11月と3月に個人懇談を行うこととしています。③のご意見のように、学力調査結果をもとにした懇談は、日が経ちすぎでは意味がなくなります。①②のご意見ももったもですので、来年度は、夏休みと3月上旬の実施を考えていきたいと思えます。

<PTA参観日に関して>

①授業参観後の学級懇談にも、可能な限り参加したいと思っている。学級の様子を伺ったり、他のお家の方のお話を聞いたり、我が子が話すこと以外で学級のことを聞いてありがたいと感じている。我が子は男の子なので、あまり学校のことも話さないし、自分の都合のいい話しかしないので・・・

②いつもありがとうございます。できる限り学校行事には参加しようと考えている。

③下の子がまだ保育園の家庭では、行事や参観日が集中しているので、仕事を休むことが多くなってしまふのが、少し軽減されるようになればいいなあと思う。

④授業参観日が、月初めや月末にあることが多いので、仕事で行きにくい。

⑤学校行事(特に学年PTAについて)は、月末や月初めに予定されることが多かったため、仕事を休みにくいこともあった。他の学校や地域との調整もあるため難しいと思うが、月の半ばに予定してもらえるとありがたい。

⑥親として、学校の先生方には信頼と感謝の気持ちをもっている。本当によくやっただいていてと思う。子どもの学校での生活や学校の指導方針は十分満足しているし、安心してお任せできるので、親がそんなに学校に来る機会を設けなくても大丈夫だと思うが…。仕事もそんなに休めないし。毎月のように学校に行かなきゃいけない気になる。先生方は親に不信感でもあるのか…。

⑦日曜日の家族参観は、少年団の活動と重なるため、土曜日の方がありがたい。

お仕事等もおありの中、参観日に出席いただきありがとうございます。お子さんの学校での様子を見ていただいたり、懇談会で情報交流したりと、有意義な時間となるよう心がけております。しかしながら、③④⑤のご意見ももったもだと思えます。来年度、家族参観日と2学期の各学年参観日を兼ねて11月下旬の土曜日を実施するように計画しました。また、低・中・高学年別に実施していた参観日を低学年(1～3年)・高学年(4～6年)というように分けて実施することも検討しましたが、来年度については駐車場の確保の関係で難しいと判断しました。今後も、PTA役員の方とも相談しながら、よりよい在り方について考えていきたいと思えます。

<その他PTAに関して>

①PTA役員(学級委員)ですが、1回役員をやれば、2～3年は免除されてもよいのでは?と思うのだが。最近の役員を見ていると、同じ方が、上の子、下の子でやってみえるように思う。上の子でやり、次の年に続けて下の子で学級委員という方もあったと思う。人数の関係で1回やれば免除が難しいのならば、2～3年間は免除していただけたらと思う。

②いつもお世話くださり、有難うございます。先日、収穫祭に参加したときに思ったことだが、親さんの年齢が若くなっているこの頃、色々な昔の伝統的な行事を行っていくことが難しくなるのでは?と感じました。「餅のつき方」「きな粉を餅に付けるのに”えっ””と思うような付け方をされる方」等、1年～6年までの親子で参加の行事も、ずっと当たり前のように行っているが、再確認することも必要かと思う。

①についてですが、来年度のPTA役員で検討してみます。②についてですが、祖父母の方にも大いに参加していただくなどして、無理のない範囲で継続していけたらと思えます。花餅づくりなども、伝統文化として伝えていきたいものです。

<地域に関して>

①見守り隊の方々や地域の大人の方が、子どもたちを見守って下さることは、たいへんありがたいことだと思う。

②古川西小のよいところとして、地域に見守られている点（区からの支援、資源リサイクル 等）が挙げられる。伝統とも言える。今後も続けていくことが望まれる。

①②について、地域の見守り隊の方には、本当に頭が下がります。これに甘えず、児童の安心安全な登下校について、学校は学校でできることを、家庭は家庭でできることをやっていかなければならないと思っています。また、②について、本当にありがたいことです。区民の皆さんからいただいた校区会費は、子どもたちの教育環境を整えるために有効に活用させていただいています。また、資源回収についても、区民の皆様にも全面的に協力いただき、大変ありがたく思います。

<その他1>

①先生方、いつも一生懸命取り組んで下さり、ありがとうございます。今後もよろしくお願い致します。

②いつもお世話になり、ありがとうございます。我が子は、毎日学校へ楽しく通い、勉強させていただき、友達もたくさんいて幸せだと語っている。少しマイペースなところがあるが、根気にお付き合ひ下さり、見守り、時には注意していただき、先生方には感謝している。最近は体罰や虐待などと、過剰に報道がされて、先生方もあまりきつく叱れなかつたりするとは思いますが、西小の先生方は、皆さん、子どもとしっかり向き合って話をして下さっているし、私自身も子どもたちに本気で向き合えば伝わると思っている。どうか、あまり気になさらず、厳しく叱る時は叱っていただきたいと思う（いろいろあるとは思いますが）。

③忙しい中、一人一人に目を向けるのが難しいと思うが、できる範囲でたのんだことをやっていただけて、とてもありがたい。

④古西の先生方のレベルがあまりにも差があると感じている。毎年、若い先生に続けてみてもらうのには心配なところもある。

⑤いつも子どもの様子を気にかけてくださり、相談に対しても親身になっていただきありがたく思っている。一つ気になることがある。他の学年の先生で、保護者の相談内容について気にかける以前に、育児内容に対して否定的な意見を言われたり、その児童の行動の方に問題があるような言い方をされたりしたという話を聞いた。家の子の担任の先生には本当に感謝しているし、対応も素晴らしいと思った反面、他の保護者の方の担任の先生の話に耳にしたときに、もしその先生が自分の子の担任になったら心配な気持ちになった。先生によってこのように対応が違うというのはあまり好ましくないと思った。その点、改善していただけたらと思う。

⑥個人懇談で、「あまり強く注意して、不登校になっても困りますし…」と言われて違和感を覚えた。お気遣いいただいていることも理解するが、何故叱られているかが伝わり、本人が納得できれば叱られてもそのようなことにはならないと思う。多くの場合、「叱られたときにいつも言われていることと違う。」とか「自分にも思いがあったのに聞いてもらえない。」とか、「なんで自分ばかり。」とか、叱られたことに対して理不尽だと思ったまま話が終わるのではないか。高学年になると、叱られることにも慣れが出てきて、「とりあえず聞いて終わらせとけ」といった子どもの態度にも問題が出てくるとは思うが、子どもたちが学校や先生を信頼してずっと好きでいてくれるために、子どものことを思って叱ってほしい。

児童の将来の幸せのために、児童一人一人が力を付けることを願っています。そのために、一人一人の児童に「寄り添う」「やる気スイッチを入れる」を職員の合い言葉としてやってきました。まだまだ不十分な点は多々ありますが、ベテランも若手も、一人一人がもつよさを発揮しながら精一杯子どもたちと接してきました。今後も、この姿勢を貫き、「古川西の子」のために、情熱をもってその職責を果たしていきたいと思えます。

<その他2>

①学校の先生や学校に対し、批判をされる保護者の方がみえるようだ。子どもがよくなって欲しいという思いは学校も家庭も同じなので、協力をしながら、どうしたらよいのか、相談していかなければならないと思う。

②一部保護者の中に、学校や先生に苦情ばかり言う方がみえることを残念に思う。それに対して、何も言えない私たち保護者も残念だ。それでも一年間、担任をして下さって、ありがたいばかりだ。いつもありがとうございます。

③一部の保護者が、学年全体の保護者の中でも問題になっている。厳しく対応していただける先生を求める。

④これは、学校への意見ではありませんが…。最近、学校の方針等が気に入らないという親さんの話を聞くが、色々和学校への不平不満を言われている親さんが、自分の親しい方の子どもさん呼び捨てにしているのを見て違和感を感じた。何が正しくて何が間違っているか。学校で色々教えてもらうことも大切だけど、家庭での教えも大切では？

「親さんと担任、親さんと学校がわかり合えていないのは、子どもが可愛そうだ。不幸なことだ。」と職員には話しています。①のご意見のように、「子どもの将来の幸せ」を願っているのは、学校も家庭も同じです。ですから、学校としては、学校の方針や担任の思いを分かっていたために全力を尽くさなければならぬと考えています。PTA 総会等でもお願いしていますが、何か気がかりなことがありましたら、遠慮なく学校へ相談してください。誠意をもって対応させていただきます。

<その他3>

①学童でもいろいろなことをたくさん経験させてもらって、ありがたいと思った。特にマフラーを作って帰ってきた時は、感動した。ありがとうございました。

②学童も毎日利用させていただいていますが、しおりや切り紙を作ったり、マフラーを編んだり、いろいろなことを教えてもらえてとてもありがたいし、子どもも喜んで時間を過ごしているようだ。

③学童保育が毎週土曜日にあるとありがたいと思う。

④スポーツ少年団の活動について、子どもの体を考える（2時間程度）よう学校側からも指導を入れて欲しい（親から何度言っても改善されないため）。小学生が夜9時過ぎまで練習、1日練習をしている。

①～③については、児童課へ申し伝えておきます。④について、この事案は社会教育の関わりですので、育成会を通じて生涯学習課へ相談されてはいかがでしょうか。



【学校評議員の会でいただいたご意見】

1 保護者アンケート結果から

- 家で子どもが話したことに対して、親がどう言うかで子どもの感じ方が違ってくる。学校のことを分かって（肯定的にとらえて）子どもに接していらっしゃる方の子どもさんは幸せだと思う。
- 自分の思うようでないと納得されない親さんもみえる。しかし、ほとんどの方は理解してみえると思う。学校は自信をもってやってもらえればいい。
- 少人数で指導できる環境をつくってもらえていることがありがたい。そして、少人数指導の効果が出ていることをうれしく思う。児童の得意分野を伸ばす指導の成果が、その子に自信を付けることに結びついていくはずである。
- 「小学校6年間で、全ての西小校区を訪れる。市内の全ての町で体験学習を行う。」というふるさと教育の意図をととてもうれしく思う。同じ古川に住んでいても、他の小学校区のことをほとんど知らないのが現状である。やはり、小さいうちからどんな形でも一度は体験させることが将来につながっていくと思う。
- 普段の授業を見せてもらったが、若い先生もベテランの先生も一生懸命やってみえた。掲示や黒板なども工夫されていたし、資料なども工夫されていてとても分かりやすい授業、楽しい授業だった。

2 地域での児童生徒の姿から

- あいさつ指導の成果が出て来ていると思う。朝、ほとんどの子が見守り隊の方に気持ちよくあいさつしている。また、登下校時に雪かきをしていると、「ご苦労様です」と言ってくれる子がいる。とても素晴らしいことだ。
- 子どもの顔は一つではない。家の中では無愛想にしているけど、地域の方にはしっかりあいさつをしている姿もある。そういう姿を認めてあげたい。
- 中学生もあいさつがよくできる。習慣として、礼儀として身に付いているのだろう。
- 雪の日、動けなくなっていた車がいたら、中学生が何も言わずに車を押してやっていた。その方は東京の方で、そんな中学生の動きを驚かせてみえた。こういったことが、この地域のよさだと思う。大切にしていきたい。

